

第2回JOICワークショップ 「オープンイノベーションの推進マインド」

オープンイノベーション協議会事務局
(運営支援：有限責任監査法人トーマツ)

1. 日時 (全2回)

第1日：11月25日(水) 13:30～16:30 (13:00受付開始)

第2日：12月15日(火) 13:30～16:30 (13:00受付開始)

*12月15日についてはワークショップ終了後にJOICの活動報告と交流会を企画いたしております。

2. 場所

第1日：オフィス東京 T3会議室 (別添マップをご参照ください)

第2日：NEDO川崎本部 21階西会議室

3. 目的

グローバル競争の激化や市場のライフサイクル短縮化などを背景に、オープンイノベーションの必要性が指摘されて久しいですが、スローガン先行とならずオープンイノベーションを真に推進するためには、トップマネジメント、ミドルマネジメント、現場社員のそれぞれがオープンイノベーションの必要性やポイントについて真に理解を深めることが重要です。

そこで本ワークショップでは、オープンイノベーションがなぜ必要か改めて問い直し、理解を深めたいうえで、実際に推進するにあたって社内で行き当たる課題を参加者間で話し合い、さらにそれら課題を乗り越えるためのポイントを議論します。オープンイノベーションの支援事業者や、近年取り組みを強化している大企業の担当者をゲストに招き、普段は接することの少ない他社・他業界の参加者間で論点を共有することで、会員の皆様の円滑なオープンイノベーション推進の一助とすることを目的に企画しました。

4. 内容

(1) 第1日：オープンイノベーションの必要性と課題 (11月25日)

【ゲスト講師】

株式会社ニンシグマ・ジャパン 代表取締役社長 諏訪 暁彦 氏

【講演概要】

「オープンイノベーションの必要性、課題と成功の鍵」

オープンイノベーションはどんなに手段を用意しても、優先度の高い重要なテーマで実践しないと成功にはつながりません。しかし、優先度の高い重要

なテーマでの活用方法を思いつぐためには、普段から、プロジェクトリーダーが外部活用を意識できるような風土を築くことが不可欠です。そのような風土の醸成を阻害する原因を事例で解説するとともに、難しいと思われがちな風土構築を促進する、どの会社でも本日から実践できる工夫をご紹介します。

【ファシリテータ】

有限責任監査法人トーマツ 兼 トーマツベンチャーサポート株式会社

瀬川 友史 氏

【プログラム案】

- ・ ゲスト講師による講演
- ・ グループワーク
- ・ 全体討議

(2) 第2回：オープンイノベーション推進のポイント（12月15日）

【ゲスト講師】

NTT データ株式会社 オープンイノベーション創発室

室長 残間 光太郎 氏

【講演概要】

「NTTデータにおけるオープンイノベーションの取り組み」

NTTデータにおけるオープンイノベーションによる新たなビジネス創発の取り組みについて、具体的な活動として実施している「オープンイノベーションフォーラム豊洲の港から」、「オープンイノベーションビジネスコンテスト」、社内からの新しいイノベーション創発活動として実施している「4本柱ワーキング」を中心に、実際の事例を交えてご紹介させていただきます。

【ファシリテータ】

有限責任監査法人トーマツ 兼 トーマツベンチャーサポート株式会社

本田 知行 氏

【プログラム】

- ・ 前回の振り返り
- ・ ゲスト講師による講演
- ・ グループワーク
- ・ 全体討議
- ・ JOIC活動のご報告（16:40～17:10(予定)）
- ・ 交流会（17:20～（予定)）